

# 沖縄惠泉塾だより

4号

2014/8/12

発行：沖縄惠泉塾 事務局 〒905-1316 沖縄県国頭郡大宜味村字白浜 442 番地 161

TEL&FAX：0980-44-2585 Eメール keisen@kugani.jp

口座番号・ゆうちょ銀行 記号 17000 番号 8716181

## 巻頭言

### 神様の命令に従う時、道が開ける

沖縄惠泉塾 代表 大澤憲一

全国の皆様から貴重なご支援をいただいて、大宜味村に2万8千坪の土地を購入することが出来ました。また余市より3人の方々 dispatched されて、プレハブの、まだ設備が整っていない環境で生活されながら、頑張って農地開拓をしていただいている。しかし残念ながら、現状は惠泉塾の建物を建てる目途が立っていない状況である。この土地は農業振興のための地域に指定されており、農地法によって農業のため以外の宿泊用の建物は建てられなくなっているからである。

その中で神様は、大宜味村の人たちを愛し、彼らの必要にまず応えなさい、と私に語られた。そうして、私自身が精神科のクリニックを大宜味村に立て上げるよう言われた。大宜味村は意外にも引きこもっている青年たちが多くという。また独居老人も多いそうである。彼らの所に往診に出かけて行き、惠泉マリア訪問看護ステーションと組んで、必要な医療、介護を提供したらどうだろうか。こう決心した時から神様がすばらしく働いてくださり、道を開いて下さっている。私は知らなかったのだが、諸見里さんのご主人が、離島や僻地に医師を招聘し診療所を開く働きを、ずっとしてこられたそうである。このご主人が協力をしてくださるとのことである。クリニックの開設方法など全くわからない私にとって、実に力強い援助者が与えられた。神様の命令に従って思い切って一歩踏み出すとき、神様はすでにそこに道を開いて下さったことがはっきりとわかる。実に感謝なことである。

## お知らせ

## 10月沖縄セミナー

- \* 日時：10月11日（土）～10月13日（月）
- \* 場所：未定
- \* 申し込みは事務局へ（0980-44-2585）  
（場所、その他詳しい事は、後ほど要項でお知らせします。）



神様は、あまねく全地を見わたされる。

### 沖縄での一ヶ月を振り返って 藪 裕晃

6月19日、3人の乗る飛行機が那覇空港に到着した時に、目に写ったのは自衛隊や米軍の空軍などで、ここは北海道や本州とは違うなあと思いました。

沖縄恵泉塾の皆さんにとっても歓迎されて一ヶ月間が、あっという間に過ぎていきました。沖縄は湿度が高いのでしょうか、すごく汗をかきます。その汗をかくのがとても気持ちよく感じます。一ヶ月が過ぎて今までの緊張感がほぐれてきたのか、この頃は疲れのようなものが出てきて、昼間は皆で一生懸命働いて、夜はぐっすりと眠ることができます。

それから台風には驚かされました。初めての沖縄での台風8号がとても大型で、風や雨が激しく、本当に考えられないような大きな音で、とてもびっくりしました。その威力はすごかったです。すこしおさまってから外に出たら、ものすごい風と雨で立って歩けないくらいでした。

毎週土曜日は、色々な所から集まり、共に学び作業して汗を流し、その後、愛餐の時をもたせて頂いております。その時にたくさんの人と出会い、交わりが与えられ、とても恵まれた時を、多くの人たちと共に過ごさせて頂き感謝しております。これから畑での色々な実りがあることを楽しみにしております。



北の地から送られた兄弟たちの感想

### 沖縄恵泉塾に来て 長谷川 賢

沖縄恵泉塾に来て一ヶ月が経った。この一ヶ月を振り返ると自分としては、まだまだ沖縄の気候や生活にも決して慣れていないことが本音でもある。例えば、朝も四時半ごろまで寝てしまい、早朝、聖書の学びの時間に遅れることがしばしばある。次に、毎日の農作業が始まるころにも、思うように体を素早く動かすことが出来ないで、ついルーズな行動を取ってしまう時がある。そして夜に入って寝るときでも思わず、ぐずぐずとしてしまい、なかなか早く寝ることが出来ない日もある。毎食の食事の時も、まだ周囲の人の目が気になり、ぎこちない時も多少ある。このように、こちらに来て生活に関しては、まだまだ不慣れな点がいくつか残っていることは事実だと思う。それでもここに来た当初と比べると少しずつ自分の方から周りの人たちに話し掛けるようになった。

沖縄は、7月になってすぐ猛暑の日が何日も続いたが、8日には台風8号が沖縄を直撃した。この日は初めて沖縄の台風を経験した。とにかくすごい風が吹いていた。

その後の毎日の農作業では、沖縄独特の蒸し暑さで部屋に戻ってから疲れて横になってしまう時が多い。

これからも、毎日の生活の中で不安や困難な事が沢山あるかもしれない。まずは、この沖縄の暑い夏をなんとか乗り切りたいと思っている。そして、以前から悩んでいた潔癖症の件についても一刻も早く治りたいと願っている。

## 余市より派遣されて

川上 民生

余市より派遣されてきました。亜熱帯の草木が繁茂し、聞いた事もない鳥の鳴き声が、キーキーと聞こえるジャングルの片隅に、沖縄恵泉事務所と農園があります。賢くんは事務所に、私と藪君の二名は六畳一間のユニットハウス(よく工事現場などに置いてあるあれです)に寝泊りしています。

こちらに来て始めの半月ほどは、熱帯特有のスクールに似た雨に、ときおりうたれる中での作業となりました。またその間に、近隣住民400名以上が避難するというほどの大型台風に見まわられました。死ぬかもしれないと思いました。周囲の農園のバナナをはじめ農作物の被害も大変なもので、半壊状態のハウスも多数見受けられました。そのような中で私たち3人の沖縄新生活は幕を開けました。こちらの諸見里さん、新里さんご夫妻、赤嶺さんご夫妻をはじめ沖縄の召団員の方々も皆さん親切によく気を配ってくださっています。

派遣されて一ヶ月ほど、人の背丈ほどもある草木に覆われていた2万8千坪の土地もなんとかかんとか畑らしくなってきたところです。第一関門突破といった所ではありますが、まだまだ課題は山積し頭を悩ませているところです。また畑には、水も倉庫も収穫物の保管場所も、農機具に作業機械も、人手もお金もない有様です。皆様方の祈りと支援も必要とされています。私ども3名も微力ながら、大澤先生はじめこちらの兄弟姉妹たちと共に、沖縄恵泉塾立ち上げのため全身全霊を傾けていきたいと思っております。



バナナの木をバックにして

## 余市から三銃士を迎えて

諸見里和美

余市恵泉塾から3名の若者が、沖縄恵泉塾の働きを助ける為に派遣されてきました。

時は6月19日、長い梅雨が明けると、灼熱の太陽が身を焦がす南の島の夏に、不安を抱きながらも、神様の働きの為にと、いらしてくださいました。住まいも充分整えてあげることが出来ず心苦しく思っています。それでも「何か手伝いましょうか。」といつも声かけしてくれ、周りを気遣って私達の足りないところを補ってくれます。約束の時間をよく守ってくださり教えられる。食事好き嫌いなく食していただき、調理する係りの者も喜んで仕えています。合同会社「沖縄恵泉」の土地は広大(作付面積1万4千坪余)で畑にする為の労働が遅々として進まなかったけど、余市恵泉塾から吹いてきた新しい風によって一気に畑らしくなりました。風穴をあけ、ものすごいスピードで草を刈り、土を耕し、畝立をし、作物を植える準備が整いつつあります。3名の方々はすっかり肌が色づいて、着任した頃の色白さは小麦色の肌へ変質しています。暑く長く続く夏を、熱中症にもならず過ごされたらと思いつつ共に生活を楽しんでいます。老人?ばかりの共同生活の場に若者

が3人も派遣されたお陰で毎日が活気づいて  
います。会話も広がり感動も多く命の躍動を感  
じます。

また課題も山積みです。作物の収穫物の保  
管場所、作物加工や販路をいかにするか等、  
見据えていかねばならない事が多々あります。

今後とも全拠点の皆様の祈りとご支援なしに  
は立ち行かない事を実感しています。全てを  
主に信頼しつつ歩む沖縄恵泉塾にしたいで  
す。主に感謝。



～防風林を植える～

### 札幌キリスト召団、夏季福音特別集会、 余市恵泉塾の体験入塾を通して

高良芳美

今年の3月頃「あなたにいいと思う。聴いて  
みて」と、ある姉妹からCDを渡された。なんと  
それは今まで聞いたことのないすばらしいメッ  
セージでした。「愛の実践とは」という意味が、  
はっきり理解できるようなものでした。

約15年のクリスチャン生活で、何かしら暗い  
心に光が差し込んだ様な気がして心も弾み、  
すぐ姉妹たちと沖縄恵泉塾に参加するよう  
になりました。それからと言うものトントンと何かし  
ら事が運び、珍しくも仕事の休みもスムーズに

取れ、健康も祝され、北海道余市での夏季特  
別集会と、恵泉塾体験へ行く事ができました。  
ほんとに嬉しくびっくりでした。神様が共におら  
れ、聖霊様が触れて整えてくださっておられる  
ことを実感しました。

特別集会でも恵泉塾でも、午前3時半に起  
きるのが、一番辛かったのですが、この集いは  
常に神様が中心である事をより理解する事が  
できました。神様に従い、神様の価値観で生き  
るという人生を悟ると、喜びで満たされ、心が  
平安になりました。またこの体験を通して神様  
の恵みも深く知ることができました。

今沖縄恵泉塾で愛の実践をしたいとの思い  
があり、仕事が休みの日には大宜味でのデボ  
ーションや農作業をしています。1時間半は遠  
いと思っていた道のりも、最近は近く感じます。  
広々と耕された農地を見ると、神様には不可  
能はないと思い、又、愛し合って一つになると  
言うメッセージの言葉の力強さに感動し、神様  
の「互いに愛し合いなさい。」という御言葉が、  
今の私の大きな支えとなっています。

余市で愛の実践を体験する事ができたこと、  
神様と兄弟姉妹に感謝します。



～恵泉農園にて～

## おやじの会、早2回目 新里 裕

今年5月に「おやじの会」を立ち上げました。沖縄恵泉塾と関わりを持つ方々に「おやじの会」に参加して下さる様、声をかけましたところ11名の方々が参加してくださいました。2回目の会は7月12日(土)に行われ、1名増の会となりました。会食を中心にお酒も入り前回より話がはずんで、時間が経つのも忘れるほど盛り上がった会となりました。沖縄恵泉塾代表、大澤先生より、来年3月頃、大宜味村にクリニックを立ち上げる開会の挨拶ではじまりました。また、これから先、沖縄恵泉農園、ユニットハウス前の軒作り等々、男手が必要な状況が多くなります。ぜひ、おやじパワーで協力して下さる様お願いし、楽しい中、皆様の笑顔を見ているうちに散会となりました。

## 動き始めた発達障がい学習会

沖縄恵泉塾 加藤 幸

去る7月4日(土)に夫が名護市に起業した会社(INDEX・ASIA 株式会社)主催で、第1回『発達障がい学習会』を実施しました。この学習会の目的は「発達障がいを抱え、生き辛さを抱える人の必要に応える。」「神が創造された全ての人との、愛し合う世界づくり」です。そのための小さな一歩を踏み出しました。準備不足で多くの方に案内が間に合わなかったのですが予想を上回る36名もの参加者がありました。恵泉塾関係者だけでなく、オリブ山病院関係者の方々、また夫の会社の方も集い、発達障がいについての関心の高さが伺えました。「発達障がいの特性とその理解」と題して、沖縄発達障がい者支援センターの支援を受け、

同センターの臨床心理士、天久親紀氏から講義を受けることが出来ました。

発達障がいを抱える隣人の欠けたるを具体的に補うためには、障がいの特性や困難さを私達は知り、共感する必要があります。今までの良かれと思う対応が、発達障がいの隣人にとっては、かえってつまずきとなることも多々あるからです。

職業柄、何度となく発達障がいについての講演を聴いてきた私ですが、今までで一番ズシンと腑に落ちた講演でした。それは講師の天久氏が、現在進行形で悩みながらも投げ出さず、当事者とずっと根気強く関わり続けているからだと思います。当事者への温かい眼差しからの数々のエピソードが胸を打ちました。講義の中で紹介された絵本『学校コワイ』(よっぱももこ著)の朗読を聞きながら涙がこぼれました。自分の見えている、感じている世界が全てだと思ひ、それを押し付けていた傲慢さ……。耳の聞こえない方に「これはピアノの音でしょう、常識でしょう。」と言っているようなもの。

皆さん共に学んでいきませんか？

すばらしい講師の方々が次々と与えられ無報酬で学びを助けてくださっています。これも神様の助けと、心より感謝します。なお「発達障がい学習会」の様子は、録画していますので、ご興味のある方はご連絡ください。

(090-1990-8900、カトウ、ユキ)

《第1回学習会》



## 発達障がい学習会 実施日程 (案)

### 今後の実施予定 2014 年度

第三回)09 月 13 日(土)講演会

第四回)10 月 04 日(土)講演会

第五回)11 月 01 日(土)療育現場からの発達障がい支援の実態レポート

第六回)12 月 06 日(土)ペアレント・トレーニング(プログラム)について

### 今後の実施予定 2015 年度

第七回)01 月 10 日(土)講演会

第八回)02 月 07 日(土)講演会

第九回)03 月 07 日(土)年度総括



歓迎会 愛餐 恵泉農園にて